

第八十四日目

師 範：日本は、アメリカやイギリスと戦争をするべきではないという意見と、ドイツと組むべきだという意見とがあり、なかなか決められませんでした。



とくに海軍はアメリカやイギリスとは戦うべきではないという意見が強くありました。

しかし陸軍は、ドイツがつぎつぎと周辺の国に進出し、勝利していく姿を見て、ドイツと組むことをすすめました。

1940年に日独伊の三国は同盟を結びました。

日本はヨーロッパにおけるドイツ・イタリアの戦いを支持する、ドイツとイタリアはアジア・太平洋での日本の戦いを支持するというものでした。

日本は三国同盟を結び、同時にソ連と中立条約を結んで、北からの危険をおさえて、南方へ進出して資源を確保する作戦をとりました。

1940年 三国同盟が成立する。

この年を覚えましょう。

ペン太：これはいかがでしょうか。



「日独伊 行くよお互い 戦争へ」

「いくよ」は194,「お互い」は0です。

師 範：まさにそのとおりです。